



2023協約改訂を全組合員で闘おう！ シリーズ②

## 社員の負託に応える賃金・労働条件改善を！

### JR東海労趣旨説明

#### 2023年度労働協約改訂第1回団交

本部は本日、2023年度労働協約改訂及び労働条件改善の第1回団体交渉を開催しました。労使共に趣旨説明を行いました。組合側からの趣旨説明は以下の通りです。

### JR東海労働組合2023年度 労働協約改訂及び労働条件改善要求趣旨

会社は令和4年度決算について、2期ぶりに大幅な黒字決算を計上した。令和5年度第1四半期においても最高益に近づく勢いである。これは社員が安全・安定輸送を担った結果である。

しかし、2023年度新賃金は、ベアはわずか1,000円であり、世間相場を大きく下回り、生活は苦しくなっている。

このような社員に報いるためにも、諸手当改善や山積した職場問題の解決に会社は努力しなければならない。

併せて、少子化の進展をはじめとした社会関係の変化、高齢者雇用をめぐる社会状況の変化に会社として対応し、そこに働く社員の生活基盤を盤石なものとしなければならないし、社員の意欲・働き甲斐を感じられるものでなければならない。従って、賃金はもとより、福利厚生面も充実させ、誰もが65歳まで働きがいやモチベーションの高揚を図れるよう、会社は更に原資を増加して「人への投資」を改善・整備すべき時と考える。

一方、リニア中央新幹線建設について会社は、品川～名古屋間の建設費用7兆円を超える建設費用となった。また、大深度化トンネル掘削工事に見られるように、沿線住民の意見を無視し、建設スケジュールありきの対応に終始している。

7兆円を超える建設費用の資金調達の不透明さもあり、今後、リニア中央新幹線建設を強行した場合、経営破綻をしかねない。即刻、リニア中央新幹線建設は中止にすべきである。

以上の趣旨を踏まえ、JR東海労は2023年度労働協約改訂及び労働条件改善に関する大幅な改善等を実現するよう強く要求するので、誠意ある回答をすること。